

オセアニア通貨の動向について

大和証券投資信託委託株式会社

10月28日から29日にかけて、為替市場では各通貨に対して円高の動きが見られました。オセアニア両通貨も、対円で比較的大きな下落を示しています。

豪ドル	28日仲値	83円77銭	→	29日 仲値	81円14銭	- 3.14%
NZドル		67円99銭	→		65円08銭	- 4.28%

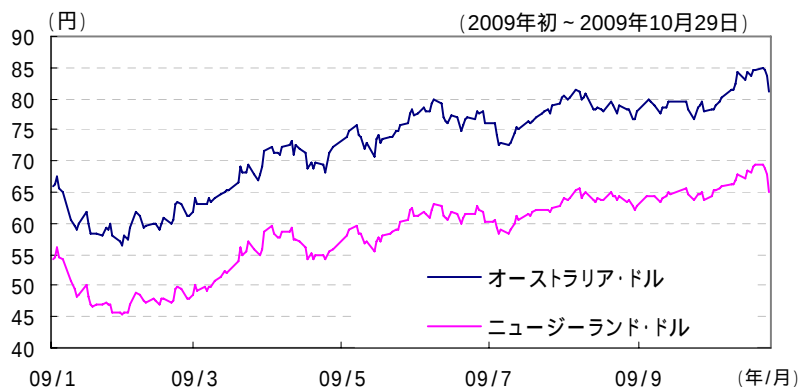
最近の世界の資本市場では、新興国を中心とした景気の好調、世界経済の緩やかな回復期待から、グローバル投資家の活動が活性化していました。オセアニア両通貨に対しても旺盛な投資需要が見られたことから、対円でも順調な上昇基調を示していました。

ところが昨日は、中国景気減速懸念から中国株が下落したことを皮切りに、米国の軟調な住宅統計から米国株式が下落、在庫増から原油価格も下落を示すなど、資本市場の投資環境が悪化の兆しを見せました。このところの資本市場を支えてきたブラジル・レアルなど新興国通貨市場でも調整安が見られ、為替市場では相対的に安全と見られる米ドル、日本円などへの買いが強まりました。こうした市場環境の変化を受け、オセアニア両通貨も対円で下落しました。

世界の景気に対して楽観的な市場心理が一気に冷え込みを見せたことから、当面、資本市場では調整色を残す可能性もあると思われます。しかし今回の円高は、オセアニア両国自体の悪材料・ファンダメンタルズの悪化によるものではないことには留意しておいてよいでしょう。オーストラリアについては堅調な経済の動きを受けて利上げを継続するものと思われ、市場が落ち着きを取戻せば、両国通貨への投資が再び活性化するものと思われます。中長期的な投資の視点からは、両通貨への投資タイミングを狙いたい段階と考えます。

以上

【オーストラリア・ドル、ニュージーランド・ドルの対円為替レートの推移】



(出所) ブルームバーグより大和投資信託作成

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

商号等 ： 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会